



仁比山っ子

令和4年 3月 3日 (木)
神崎市立仁比山小学校 第42号
(文責) 校長 田崎 幸子

学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしいっぱいなかよくする子
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで運動する子

ありがとう集会 (6年生を送る会)



側面かざり



ステージ上かざり

2月26日(土)土曜開校日、「ありがとう集会(6年生を送る会)」を行いました。この集会に向けて、代表委員会で「6年生に感謝の気持ちが伝わるような思い出に残る集会にしよう」と話し合いました。話し合いの結果、ステージ上のメッセージ「6年生、今まで学校を支えてくださったり、下級生の手本になってくださって、本当にありがとうございました」や役割分担が決まりました。



入場する6年生

集会は1, 2, 3年生の出し物中心の前半と4, 5年生中心の後半の二部制で行い、体育館に入っていないときは教室のテレビでリモート中継を参観しました。

在校生は、コロナ禍ので限られた活動の中で、合奏や劇、ダンスなど、どの学年も6年生への感謝の気持ちと新しい門出へのエールを心をこめて伝えました。呼びかけ、出し物、合奏、ダンスなど、一人一人が一生懸命表現していて、6年生へのみんなの思いはもちろんです。この1年間の子どもの成長に胸がじーんときました。6年生もとてもうれしそうに下級生を見ていて、思いは十分に伝わっていたようです。



3年生:漢字で感謝とエール

在校生の出し物の中でよく出てきた言葉「手本」「やさしい」「引っ張って」は、下級生から見た6年生へのあこがれの気持ちです。



2年生:ダンス 歌

学校のために動いてくれた6年生をしっかり見ていた下級生。また、司会進行や掲示物にも6年生への思いがこめられていました。



1年生:じらぐも

手作りのペンダントを下げ、入場した6年生に



2年生からの手作りのプレゼントや縦割り班からの感謝の手紙も5年生が代表して渡しました。(5年生が中心となってこの集会の企画・準備・運営をしました。立派にできていました。)

4年生:6年生クイズ ダンス 「虹色の鳥のようにはばたいて」



最後の6年生の出し物は、ダンスでした。運動会の時もダンスありの表現でした。自分たちの思いを、きらきらした眼で一生懸命に表現できました。

いよいよ卒業していく6年生—在校生のためによく動いてくれました。在校生の手本としてがんばってくれました。本当にありがとう。

5年生: ダンス 合奏 仁比山のお宝「責任感、リーダーシップ、やさしさ」



仁比山小のみんなが、これからも6年生のみなさんの活躍を祈っています。応援しています。

6年生 ダンス 「これで本当に6年の出し物を終わります。」